



【令和3年度要求額 2,000百万円（新規）】

「ポスト／With コロナ」社会において必要な衛生環境向上及びCO2削減を両立する技術・システムを様々な場面において実証します。

## 1. 事業目的

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、衛生環境への関心が一層高まっている。このような状況を受け、「ポスト／With コロナ」社会において、必要な衛生環境の向上を確保しつつ、かつエネルギー消費に伴うCO2削減を両立する技術・システムを様々な場面において実証し、安全安心な社会と脱炭素社会への同時実現を目指す。

## 2. 事業内容

【政策背景】衛生環境への関心の高まりに加え、都市部などの人口密集地域の施設等では快適な生活・労働環境を確保する上で空気性状の維持・改質も不可欠であり、必要な衛生環境の向上と、気候変動への対策としての省エネ・CO2削減も求められている。このような環境を創出する上で、衛生環境の向上や省エネ・省CO2に資する様々な技術について、実フィールドにおける総合的な技術実証や効果検証等は行われていない。

【事業概要】「ポスト／With コロナ」社会に機動的に対応するため、様々なユースケースの展開に向けて、我が国の革新的技術に基づく技術実証等に取り組み、安全・安心な衛生環境創出に資するCO2削減技術・システムの検証・社会実装加速化を行う。

【技術開発実証】例えば、殺菌力が強い深紫外線を発するLEDや、空気性状を改質する換気も可能な空調等の要素技術等の性能を向上させつつ、それらを組み合わせ、衛生環境向上に資する省エネ型の空調・換気システム等の開発・実証等を委託事業として実施する。さらに、補助事業を同時に組み合わせることで確実な事業化につなげ、社会実装の加速化を目指す。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託・補助（補助率1/2）
- 委託、補助対象 民間事業者・団体等
- 実施期間 令和3年度～令和5年度

## 4. 事業イメージ

＜組合せが想定される活用技術例＞

高出力な深紫外線LED



想定される適応先の例

- ・オフィスビル
- ・病院
- ・商業施設
- ・介護施設
- ・学校
- ・駅 等

空調・換気システム

